

パキスタン・シャリフ首相 殿

1998年5月29日
核兵器廃絶をめざす富山医師・医学者の会
代表世話人 佐々 学

核兵器廃絶を願う世論に挑戦する

パキスタンの核実験に強く抗議する

貴殿は5月28日に、西部バルチスタン州チャガイ丘陵で、地下核実験を実施した。

今回の核実験は、5月11、13日に核実験を行なった隣国インドに対抗するものであるとしても、核廃絶を願う国際世論に挑戦するし、新たな核兵器軍拡競争の危険を強めるものである。

今回の核実験は、NPT（核不拡散条約）とCTBT（包括的核実験禁止条約）に調印してこなかった貴国の核兵器保有計画を示すものであり、いかなる口実があろうとも断じて容認できない。

われわれ医師・医学者は国民の健康と生命を守る立場から、今回の貴国の核実験に強く抗議する。貴国が隣国インドとの紛争解決の手段として、いかなる核兵器をも不使用の立場に立ち、すみやかに核兵器廃絶の実現のために努力することを強く求めるものである。